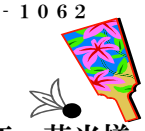
芥見東　南の

みどりっこバス 通信

芥見東・南地区コミュニティバス運営協議会広報誌第16号平成25年1月1日

発行元：広報部（芥見東公民館内）　電話・ＦＡＸ　２４１－１０６２



新年のご挨拶

岐阜市長　　細江　茂光様

輝かしい新春を迎え、心からお慶び申し上げます。

みどりっこバスも運行を開始して以来、5 度目の新年を迎えました。運行開始当初から欠かさず続けておられます「ヘルパー制度」やこの「みどりっこバス通信」の発行など、地域の皆様には様々な工夫をしていただき、利用促進に取り組んでいただいております。これらの取り組みの結果、利用者が毎年着実に増加し、この 3 月には利用者累計が 30 万人を達成するということでございます。

さらに、昨年 10 月には、こうしたみどりっこバスの取り組みが、「公共交通の利用拡大等に寄与している団体」として国土交通省中部運輸局長から表彰されました。この賞は、昨年新たに設けられた表彰制度で、大変輝かしい第１号の受賞となりました。これも、ひとえに地域の皆様方の日頃からの熱心な取り組みの賜物と、改めて感謝申し上げる次第であります。

岐阜市では、市民の皆様方がいつまでも健康（幸）に暮らせるように、また、「歩き」によって生活習慣病を予防する「スマートウェルネスシティ」の取り組みを進めております。

ここで取り組んでおります「歩き」と、「公共交通」はたいへん密接な関係にあります。即ち、近い所へは歩いたり自転車を使って移動し、遠い所へは車でなく公共交通を使えば、自然に歩くことに繋がっていきます。そのため公共交通の利便性を高めていく事が重要です。

岐阜市ではコミュニティバスとともに、次世代のバスシステムとして連節バスを活用したＢＲＴの導入を推進しており、全国から注目を集めています。連節バスは、平成 23 年 3 月から忠節橋通りでの運行を開始し、昨年には長良橋通りから岐阜公園、長良橋を経由し忠節橋通りを経て、金華橋通りと循環する「清流ライナー市内ループ線」の運行を開始しました。ご利用いただいた方の中には、連節バスに乗るために岐阜市に来られた方もあり、新たな岐阜市の観光シンボルにもなりつつあります。

新年も、こうした取り組みを継続させ、「豊饒“人間主義都市”岐阜」の実現を目指してまいります。

最後に、「みどりっこバス」が今後とも地域の皆様に愛され、より多くの方々にご利用いただくとともに、この芥見東・南地区のますますのご発展と、皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

「30 万人目はあなたです」

芥見東・南地区コミュニティバス等運営協議会副会長
芥見南自治会連合会会長　　仲井　善夫

あけましておめでとうございます。

みどりっこバスの運行開始が平成２０年６月でしたから、今年で５年目になります。本年３月のある時期に乗車されるあなたが≪30 万人目の乗客≫になるかもしれません。式典の≪主役≫はあなたです。

岐阜市内１３地区でコミバスが走っています。コミバスは市の補助を受けて、自治会を中心とする協議会が運営しています。

多くの地区が乗客確保に苦慮しているなか、「みどりっこバス」は１日平均１７０人を超え、時に２００人もの大台を超える日もあります。これも、地域の皆さんのご支援・ご協力の賜です。自動車も無く自転車にも乗れない高齢者にとって、コミバスはなくてはならない足です。

コミバスに限らず、芥見東校区の諸課題については二つの自治会連合会が協力しあって進めて行きたいと思っています。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

新 年 の ご あ い さ つ

芥見東・南地区コミュニティバス等運営協議会会長
芥見東自治会連合会会長　　多田喜代則

芥見東・南地区の皆さん、新年あけましておめでとうございます。

本年が、皆さんにとってより良い年でありますようお祈り申し上げます。

皆様方にはいつも「みどりっこバス」をご利用いただきましてまことにありがとうございます。

私達のみどりっこバスは文字通り地域の足として、またこの地域の風景として馴染み親しめるようになってきたのではないかと嬉しく思います。

平成２０年６月に試行運行がスタートしてから早くも５年目になります。みどりっこバスのコース・バス停・時刻なども定着し、バスの車内はボランティアのヘルパーさん、夏休みには藍川東中学校の中学生ヘルパーさんの活躍もあって、運転手さん・お客さん共々和気あいあいとして井戸端会議がはじまり文字通りコミュニティバスとなっています。バロー芥見店では、あいあいバス・芥見岩っこバスとも乗り継ぎができ何ヶ所かでは岐阜バスの路線バスとも接続されています。また広告を通じて応援していただいている地域の事業所の皆さんにも新ためてお礼申し上げます。

お客様も病院・診療所等への通院、スーパー等へのお買い物や趣味の会など、大体毎日１７０人～１８０人のご利用があり、平成２３年８月にはご乗車２０万人を達成し、今年３月には３０万人となりそうです。

こうしてみどりっこバスが順調に運行して地域の公共交通機関としてその役目を果たしている事から、昨年１０月には、中部運輸局長表彰を受けることが出来ました。

また、このところＮＨＫを始めテレビ、岐阜ラジオなどのラジオ放送、中日・岐阜・朝日・読売等各新聞掲載や各種情報紙とともに、視察の受け入れとしては桑名市・知多市・福井市など３０～４０人規模のご視察もありました。今後は、この地域のまちづくりの一環としてのみどりっこバスの運行を安定的にいつまでも続けられるよう岐阜市のご指導をいただき、私ども運営協議会・日本タクシーともども取り組んでまいりたいと存じます。そのためにも、今直ちにみどりっこバスが必要でない方々も将来の運行継続を確実なものにする意味合いで、あるいは環境・安全面においても、時々はみどりっこバスをご利用いただいて地域全体として守り育てていただきますようお願いいたしたいと存じます。

「みどりっこバス」の視察研修のお礼

福井市　　日新　誇りと夢・まちづくり実行委員会
事務局長　　坂井　一彦様

先日は、日曜日、また、お忙しい中、大変お世話になりありがとうございました。

また、こちらの勝手な慌ただしいスケジュールにもかかわらず対応していただき誠にありがとうございました。

「みどりっこバス」の素晴らしい成果には全員が驚き、また感心していました。

「日新さんさんバス」は出発して２週間を過ぎようとしていますが、まだまだです。ハードルは非常に高いです。しかしこの研修で教わった事を参考にし、今後いろいろな仕掛けを展開していかねばと心を新たにいたしました。

当日はお天気も良く、次の郡上八幡での環境保全と美化の視察研修、町並みの散策と、計画どおりに研修旅行を無事に終えることができました。ありがとうございました。

貴会役員の皆様にもよろしくお伝え下さい。

貴会の益々のご発展をお祈り申し上げます。